

私たちは、手稲山から流れる川とその源流である手稲山の森をフィールドとして、子供達とかつて子供だった親たちオトナ達と共に自然の中に入り、生き物に触れ、遊び、感じ、癒され、育まれるよう、活動を展開しています。

5年目の活動となるこの1年も、住宅地にわずかに残された自然である里の川での生きもの探し・モニタリング調査、豊かな自然の残る手稲山での生きもの探しやタネ拾いやタネ播き、そして笹刈り道づくり、木登りやクラフトなどさまざまな体験活動を展開してきました。また癒しの場作りも目指し、森林療法体験なども継続してきました。これらの活動について紹介します。



水生生物モニタリング調査

案内人：斉藤和範先生(ざりがに探偵団)、(株)さっぽろ自然調査館
協力：北海道工業大学柳井ゼミ学生、北海道専修大学布川ゼミ学生
助成：(財)北海道新聞野生生物基金、(財)前田一步園財団

手稲の小河川は、大きな改変を受けて人工的な環境になりつつも、多数の水生生物たちが生息している場所が残されています。今後この自然を守り育てる観点から、詳細な調査による川の自然度の把握とモニタリングによる監視と環境改善の検討を行っていくことが必要と考えました。

そこで08年は、水生昆虫を中心とした詳細な比較調査を実施し、この調査の成果等をもとに手稲の川の生きものに関する小冊子と自然発見マップを作成し、会員以外の市民への普及・啓発も行うこととして、「道新野生生物基金」「前田一步園財団」の助成をいただき、調査を行ないました。現在結果のとりまとめ中です。

調査河川：三樽別川(カッコウの森),中の川(共栄橋下),星置川(ほしみ橋下),山口運河(星置中学校裏)

6月1日モニタリング調査(1)

夏になってしまうと多くの水生昆虫が羽化していなくなってしまうので、いつもはまだ川に入らないこの時期に長靴・防寒着で調査に入りました。調査の目的をスタッフから、調査方法について斉藤先生とさっぽろ自然調査館の渡辺さんから教えていただいたあと、フィールドに移動。この日はけっこう寒く、はじめは震えながらの調査でしたが、いまいりました！ウキゴリの卵はごっそり石の裏についてるわ、三樽別川の渓流にはカゲロウやトビケラの幼虫がうじゃうじゃいました。

9月13日14日モニタリング調査(2) + 森のノネズミ調査

こんどは秋の川です。前回同様、説明のあと川に入って、斉藤先生には定量調査を、他のみんなで定性調査を行ないました。今回は裸足にスニーカーで、身のこなしも慣れたものです。「この虫なあに？」「変なのいるぞ！」などと話しながら、どんどん捕まえていきます(ソーティングの大変さも考えず・・・)。

さらに森のノネズミ調査。夕方稲雲の森へ移動し、生け捕りワナを仕掛けました。楽しみにしながら朝里でキャンプ。ナイトウォークなど盛り上がり、翌朝ワナを調べに行きました。アカネズミやヒメネズミ等が捕まりました。

11月29日ソーティング

春と秋にごっそり捕った生きものを分類・計量する作業です。「捕った人は数えること」と、少人数過重労働を危惧した代表がいつこ〜く繰り返したせい？調査なみの人数で行なう事が出来ました。両大学の学生や調査の専門家に加え職人的小学生らの頑張りで、ある程度完了しました。あと斉藤先生、お願いしま〜す。



2008年春～秋 生きもの調べ・森づくり活動

手稲の川の生きもの調べ 案内人: 姫田 丞、笹森健太(手稲さと川探検隊スタッフ)

7月19日 手稲の川の生きもの調べ(1) 8月9日 手稲の川の生きもの調べ(2) 中の川、星置川



今年も中の川(共栄橋下)と星置川(ほしみ橋周辺)で、生きもの調べを行いました。前述の水生生物モニタリング調査と重なっています。

2回目は夏休み中ということもあって特に盛況で、NPO子育て支援パーティーのいえの託児者にも来ていただいて行きました。こどももオトナも、夏の一日、川の生きものや水に戯れ、美味しいお昼ご飯に舌鼓を打って過ごすことができました。

星置川のスポットが、土砂が溜まって水位も下がったためかヨシなどが茂ってきてしまったことや、水量が激減していることが心配です。ヨシの除去方法も検討の必要がありそうです。

手稲山ろく森の生きもの調べ(というか森あそび)

3月23日 手稲山麓 雪の中には何がいるかな?(3) 稲雲の森



もうかなり春のザラメになった稲雲高校上の林の雪の上をフィールドビンゴをしながら、前回入った通称ハルニレ沼まで歩いていきました。多くのエゾシカの食痕と糞があり、ツリバナを中心にかなりの食害が確認されました。そのうち手稲山からツリバナが消えちゃうかも知れません。

もう暖かい春の陽射しになっていたのので、大きなハルニレに縄梯子を掛けて登ったり、櫛すべりをしたり、沼を探検したりして遊び、お昼もゆっくり食べて過ごしました。

4月19日 手稲山麓 春の林で生きものを探してみよう カッコウの森、三樽別川治山ダム



さて、ようやく春です。でもまだ葉っぱが出てくるのはもう少しあと。それでも森には確かに春がやってきました。春の妖精エゾエンゴサクやキクザキイチゲが可憐な花を咲かせ、そして水たまりにはエゾサンショウウオやエゾアカガエルの卵がいっぱいです。子ども達は大喜び(オトナも)!



森遊び+森づくり

5月10日 手稲山麓 春の散策とタネ播き 手稲本町市民の森、三樽別緑地



今年はとても春が早い。例年なら春の妖精が咲き乱れるこの季節だが、もう本格的な春が来た手稲山の山すそ、市民の森を軽く歩いて春を感じて、そのあとゆっくり春のタネ播きをしようと思ったが、春の森は面白いこといっぱい、半分も行かないうちに、あらもう昼?? 急いで入口まで戻って、三樽別緑地でポカポカ春の陽を浴びながら、育苗箱にタネ播きをしました。

6月28日 手稲山麓 ササを刈って道を作ろう 稲雲の森



今回は初めて、森の中で笹刈りをして、歩きにくくなった古い作業道を歩けるようにしようと思いました。そう、冬に行ったハルニレ沼が夏にどうなっているのか見に行ってみようと思ったのです。剪定バサミを手にササをパチンパチン切り倒し、倒れて道をふさぐ木をノコギリで切り、奥へ奥へ進んで行きました。ササを切っていると程よい瞑想状態と、ぱちんぱちんカタルシスです。止められません。。途中熟したヤマゲワが最高美味でした。



1ヵ所広場も作ってみました。

2008年 STVあしたの森づくりプロジェクト

助成:STV札幌テレビ放送(株)

子どもたちが自然の中で多くの体験をすること」ができる場を作ることは、コミュニケーション能力の向上、感性を育てるきっかけとして大切であると、当団体の通年の自然体験活動を通じて実感しています。今年は環境を大きなテーマにした北海道サミットが開催されますが、未来を担う子どもたちの育成と環境問題は切り離すことのできない関係だと考えます。昨年勉強会・体験会として5回にわたり、～いのちの触れる実践者の立場から～「森・川とこころ 育つ、育てられる」をテーマに、自然に身を置くことでのリラクゼーション効果に注目し、環境学習・体験活動分野と医療福祉分野との情報交換や交流を目的に勉強会・体験会を実施し、多くの学びと今後の課題を得ることができました。昨年度の課題から今年度は、子どもたちが自然を体感し楽しむ機会に飛びこんでいくためには親たちも自然について知識を深め価値観を広げていくことが大切だと考え、STVあしたの森プロジェクトの助成により、親子で学び体験できるよう自然、環境、子育てをテーマに講演会・体験活動を実施しました。

10月4日 手稲山タネ拾い・タネ播き+植樹 with中溪宏一さん カッコウの森、富丘西公園、山口緑地



木を植えて世界中を旅する中溪さんから木を植えるということ、旅すること、平和、そんな話を聞いたあと、樹のタネ採りに行きました。その種を播き、カミネコンを作って、これまで育てた苗を植えました。またまた美味しいお昼をいただいたあと、山口緑地に行って、初めての植樹をしました。



11月22日 木育て何?森で集めてマリオネットづくり カッコウの森、手稲コミュニティーセンター



最近よく耳にする「木育」とは何か、木育ファミリーの濱田さんにお話しを聞いた後、早くも雪に被われたカッコウの森に入って、マリオネットの材料にする枝や蔓、実などを拾いました。戻ってからガウチョスさんの指導でマリオネット作りをしました。命を再び吹き込まれた森のもの。最後は皆のマリオネット寸劇で楽しく過ごしました。



2月13日 アイヌの大地に子育てを学ぶ 本田優子先生講演会(後援:札幌市) ちえりあ 研修室



アイヌ文化から子育てを学ぶというテーマで平取町二風谷での「アイヌ語教室子ども部」の野外授業の様子を中心に、自然を見る触る味わうことの大切さや失敗談や「人間、五感で覚えたものは忘れないものなんだ」「川は上流から下流全ての生き物が利用するのだから汚してはいけない」と萱野茂氏から学んだ事などについてお話いただきました。



2008年 森林療法体験会

助成:北海道労働金庫

9月18日 森林療法体験会 with NPO法人森の生活 奈須憲一郎さん 滝野公園



昨年の「森・川とこころ勉強会」から一歩進めて実践していくということで、北海道ろうきん社会貢献助成をいただいて、中央区介護予防センターと「すこやかクラブ」の催しとして、滝野公園で森林療法体験会を行いました。今回もインストラクターとして下川町で森林療法を実践している奈須さんを招き、スワイショウ・養生功を途中行ないながらアシリベツの滝まで散策しました。前後で血圧とストレスを測定し、リラックスを実感しました。



2008年 その他の活動

6月7日 手稲自然フォーラム「手稲の自然 知ろう、守ろう、遊んじゃおう！」

手稲での4つの活動を紹介してもらいました。地域住民と協働で自生する花を守り育てる取り組み：牟禮菜子氏((株)石塚計画デザイン事務所) 手稲の川の環境と生きもの：高山裕将氏(北海道工業大学) 手稲山での「森の幼稚園」活動：浜久美子氏(NPO法人Envision環境保全事務所) 手稲の川・森の生きもの、探して遊ぶ：姫田丞(手稲さと川探検隊) その後参加者で、今後の川や森のあり方などについて、活発な意見交換ができました。



8月23日～24日 社会教育研究全国集会 北海学園大学(活動発表)

課題別学習会で「都市に残る自然の中、親子で学び遊んじゃおう」という題で活動報告し、翌日の分科会で全国からの参加者と活発に意見交換しました。

9月17日 環境講演会&発表会～「21世紀の地球環境を地域から考える」エルプラザ(活動報告)

札幌市主催のエルプラザホールでの講演会において、他7団体と共に活動報告とパネル展示をしました。

10月25日 道民の森づくりネットワークのつどい2008 道庁赤レンガ前広場

毎年恒例のテント村に出展、活動紹介のパネル展示や、その朝に中の川で採集した魚などの生きものたちの展示をして、たいへん好評でした。他の多くの団体との交流もできました。



9月3日 富丘小学校3年生 出前授業

総合学習の一環として、近くの中川の富丘川合流点で出前授業を行いました。川での注意事項の説明と川遊びの約束をしたあと、川まで歩いて行き、3グループに分かれて川に入って生き物を捕まえ、皆で名前を確認しました。

樹木の苗の育成



～地域に自生している樹木から採ったタネを播いて育てています～

街の中を流れる川にはもう河畔林もなく、そもそもこの辺りには林もなく、だからもともと棲んでいた生き物はいなくなっていました。

川の周りに兔や鳥たちが住める林があったら、それが手稲山とつながったら、札幌の周りをぐるりとつながったら、素晴らしいと思います。山口緑地など近隣地域での植樹やアースウォーカー中溪宏一さんにも苗を提供しています。

そして何よりタネを採り苗を育てるのは、本当に楽しいことです。苗木づくりは誰もが参加できる未来に地球につながる活動。様々な人達と活動していきます。

<今、育てている木> ミズナラ、イタヤカエデ、ハルニレ、アオダモ、ホオノキ、エゾヤマザクラ、オヒョウ他

会員募集中！

手稲さと川探検隊の仲間になりませんか？

手稲さと川探検隊では、2009年度の会員とボランティア・スタッフを募集しています。

1. 探検隊員：川の生きもの調べなどのイベントに参加できる方
年会費：1人1,000円（ファミリー隊員 1家族1,800円）
全てのイベントの参加料が半額となります。
2. 応援隊員：手稲さと川探検隊の活動を応援して下さる方
活動応援費：1口 500円 イベント等のご案内、ニュースレターの送付などをさせていただきます。
3. ボランティア・スタッフ：各イベントの企画・実施サポート、広報などお手伝いして下さる方



手稲さと川探検隊

市民活動サポートセンター登録No.40741

連絡先：代表 鈴木 玲 (すずき あきら)

E-mail aasuzuki@pop11.odn.ne.jp

Tel 080-1891-7847 Fax 011-684-4487

〒006-0807 札幌市手稲区新発寒7条6丁目8-19

ホームページ <http://t-satogawa.hp.infoseek.co.jp/>